

わっけだ! 出会い ふれあい 深め合い

男女平等EXPO高岡2014が開催されました!

男女平等EXPO高岡は、市の男女平等・共同参画を考え、広めることを目的として、毎年ウイング・ウイング祭に合わせて開催しているものです。今年度はウイング・ウイング高岡開館10周年記念事業として第1弾「男女の健康の確保について」、第2弾「暴力を許さない社会をめざして」をテーマに講演会等を開催し、男女が互いに助けあうよりよい人間関係について参加者とともに考えました。

第1弾 10/26(日) 女性の健康の確保に向けてのセミナー
**女性も男性も笑顔で健やかに自分らしく
 ~検診が運ぶ それぞれの充実生活~**

基調講演 倉田 典子さん (国立大学法人富山大学附属病院看護部 副看護部長 乳がん看護認定看護師)



日本人女性の12人に1人の割合で発症している乳がんは、働き盛りの女性30歳から約60歳迄のがん死亡原因の1位であり、再発後の治療期間が長いのが特徴です。乳腺相談外来では、治療に関することや手術前後のケア、副作用のこと、普段の生活での細かなことなども相談できます。また家族の不安や悩み、お子さんの心のサポートなど、家族の日常生活が変わってしまったことから起こる様々な問題に対するケアも受けられます。

乳がんは、早期に発見すれば98%は再発しません。「自分は大丈夫と過信せずに、正しい情報と知識を身につけて健康で充実した生活をすごしましょう。」とのアドバイスを受けました。

パネルディスカッション

コーディネーター 平尾 隆さん(男性介護者の会みやび代表)
 パネリスト 倉田 典子さん
 河合 博子さん(高岡市ヘルスポランティア協議会会長)
 石田 博子さん(乳がん患者会「ハッピーリボン」)



高岡市ヘルスポランティア協議会の予防啓発啓蒙活動や、乳がんを患った方からの家族の支えや医療機関との信頼関係、社会とのつながりの大切さなどについて学びました。そして、「検診が安心を得るためのもの」であるということに気づかされました。

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日(水)~25日(火) 11月16日(日)「エッ、これもDV・・・気づき、手をつないで守る大切な人～」と題して講座を開催し、わたしたちのまわりにある身近な暴力について学びました。センターサロンでは、DV予防啓発のためのパネル展示を行いました。また、サロンに来られた多くの方々に、展示してあるTシャツに暴力根絶のシンボルである紫色のリボンをつけていただき、「暴力のない世界にしたい」との意思表示をしていただきました。



市内の全高校1年生を対象に、リーフレット「デートDVを知っていますか?」を配布しました。



第2弾 11/16(日) 女性に対する暴力をなくす運動事業
**エッ、これもDV・・・
 ~気づき、手をつないで守る大切な人~**

アプローチ(男女平等推進センター活動登録団体)による寸劇「ある女子高生の会話から・・・」では、デートDVとはどのようなものか、またあいまいな態度を取らず明確な拒否の姿勢を示すことや、困った時には周りの人に相談することが大切であることなどをわかりやすく伝えていました。



高岡警察署と男女平等推進センターからは、高岡市の現況について、DV・ストーカー認知件数や相談件数が年々増加傾向にあることなどの説明があり、DVの危険性が自分たちの日ごろの生活の中にも多く潜んでいることを認識しました。ネット犯罪・ストーカー被害にあわないために注意する事柄や配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関するDV防止法など、被害者を守る対応策について理解を深めました。

高岡デートDV予防啓発チームによる、中学生向け「デートDV予防啓発講座」の体験では、自分も相手も大切にすることをコミュニケーション「I am OK, YOU are OK」について若いうちから理解し、暴力のない対等な関係づくりについて学ぶことの重要性を実感しました。



市民企画講座

「わたし流」「あなた流」

企画:オリーブ

ストレスが軽くなるコミュニケーション術講座



【第1回】自分と相手とのタイプを知ろう 8/23(日)

講師:南雲 陽子さん(新潟薬科大学臨床准教授)

自分には「当たり前」でも、相手には「それは違う」かもしれません。察しあいではなく言葉で伝えることの重要性や互いの違いを認め合うことが、ストレス軽減につながることを理解しました。チェックシートを使って、自分の気質のタイプを知り、セルフケアやタイプ別相手への対応法などを学びました。



【受講者の感想】

- ・人には気質があり、その強弱でタイプが決まることを知り、相手を少し理解した。
- ・相手に改善してほしいことを伝えるには、手間暇かけないと伝わらない。忍耐力が必要と知り、今後気をつけたい。

【第2回】聴こうよ!相手の話 10/25(日)

表情やしぐさ、態度など、言葉に出さなくても気持ちが相手に伝わります。聞く、聞く、聴くの違いや話を聴くときの基本態度、相手を認め安心させるリスニングスキルなどを学びました。

【第3回】伝えよう!自分の気持ち 11/22(日)

相手の立場も尊重しながら、「自分の気持ちや要求を相手に伝える」、「自分も相手も我慢しない」などアサーティブな会話方法を学びました。褒めること・お礼を言うことの大切さや、事柄と想いを分けること、私を主語にして話すことなど、上手な自己主張の方法を認識しました。

平成26年度 ワーク・ライフ・バランス推進事業所の紹介



市では、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の調和)が実現した社会に向け、仕事と生活の両立に配慮した働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる事業所を、ワーク・ライフ・バランス推進事業所として平成24年度から認定しています。今年度は、10月23日(木)高岡市役所において新たに5事業所に認定証を授与しました。平成26年度の新たな認定事業所(★)では、次のような取り組みを行っています。

株式会社イカイ硝子建材(製造業)
 社会福祉法人福岡福祉会(福祉)
 [特別養護老人ホームアルテン赤丸]
 高岡ガス株式会社(ガス業)
 チェコペットクリニック(医療)
 有限会社仁光園(農業)
 丸進商事株式会社(卸売業)
 株式会社アキデザイン
 (専門・技術サービス業)
 株式会社才高(卸売業)
 株式会社せんだ(卸売業)
 株式会社北陸化成工業所(製造業)
 株式会社本田しじゅう(製造業)

★エスエイチ株式会社

業務:介護福祉事業
 従業員:男性3人、女性42人
 【主な取り組み】
 ○業務日誌やミーティング内容のケータイメール配信により円滑な情報共有することで、働きやすい職場づくり
 ○年次有給休暇を計画的に取得できるように覚書を締結
 ○育児休業中の職員への業務日誌のメール配信や子ども連れでの勤務、短時間正社員制度などスムーズに職場復帰できる取組

★株式会社協和総商

業務:総合広告代理業
 従業員:男性8人、女性3人
 【主な取り組み】
 ○育児・看護等の家庭生活や地域活動参加のための年次有給休暇を取得しやすい職場づくり
 ○年次有給休暇の半日、時間単位の取得導入による利用促進
 ○育児による退職者の再雇用

★相互企画印刷株式会社

業務:グラフィック・Web
 ・プロダクトデザイン
 従業員:男性13人、女性15人
 【主な取り組み】
 ○勤務時間中の講座受講等資格取得の支援による社員のスキルアップの促進
 ○悩みや問題を解決し所定外労働削減につなげるため、コミュニケーションを重視した職場環境づくり
 ○働く意欲がある人の定年延長



★株式会社フジタ

業務:金型製造業
 (精密金型の設計・製作)
 従業員:男性11人、女性5人
 【主な取り組み】
 ○各種技能講習やセミナーへの参加を勧め社員のスキルアップを促進
 ○OJTの時間を設け多能工化を推進
 ○年次有給休暇の半日・時間単位の取得導入による利用促進

★株式会社瑞穂

業務:金属製品製造業
 従業員:男性10人、女性5人
 【主な取り組み】
 ○熟練の技を持つ従業員が若手従業員を直接指導しスキルアップを促進
 ○朝礼と品質管理会議を実施しコミュニケーションの場を設定
 ○希望者には70歳までの継続雇用制度と継続雇用者の短時間勤務を導入